

## 第2回住民WSにて夜間景観についてレクチャー、意見交換を行いました！

「長門湯本温泉に相応しい夜間景観」について、旅館や店舗経営者の方、住民の方向けのレクチャーと意見交換を行いました。レクチャーの内容を纏めましたので、参加できなかった方も参考にしてください。

### 長門湯本温泉 照明改修 5つのポイント

長門湯本温泉の素敵な夜間景観をつくる、5つのポイントです。①電球色の電球に交換する、等のように今すぐ出来ることもありますので、ぜひ取り入れてまいりましょう！

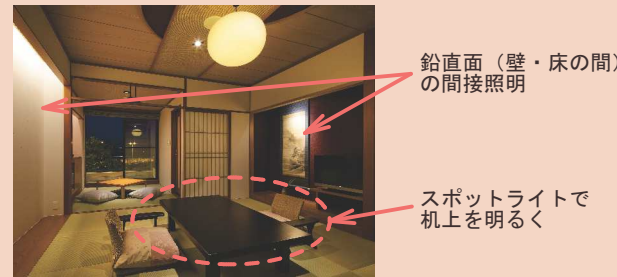
#### 1 電球色が「温泉地らしさ」をつくる！

黄色く、暖かみのある光の色を“電球色”と呼びます。下の写真は同じ旅館の客室ですが、どちらが長門湯本温泉に相応しいでしょうか？ランプ交換の際は、“電球色”と書いてあるものを選びましょう。



#### 3 客室には『食事がおいしく見える光』壁や床の間を利用して「鉛直面の明るさ」を！

客室でも、電球色の照明が基本です。お部屋食をされている旅館さんでは、机の上を特に明るくし、食事がおいしく見える光がお勧めです。また、人の視野の8割は、壁などの鉛直面です。間接照明で鉛直面（壁など）を照らすことで、大きな照明効果が得られます。



#### 4 樹木をライトアップ！

昼間は癒しを与えてくれる樹木ですが、夜になると暗がりをつくってしまいます。ライトアップすることで、夜にも気持ちの良い庭やエントランスを作りましょう。外構は、まちの景観に直接的な影響があります。あかりの演出があると、安心安全にも寄与します。



#### 5 長門湯本温泉の“オリジナル提灯”でオンリーワンの夜景をつくる！

京都の祇園では、通り毎に異なるデザインの提灯を、各店舗が軒先につけています。長門湯本温泉でも、共通デザインの提灯をかかげ、情緒的な温泉地の夜景づくりをするのはいかがでしょうか。秋の社会実験で使うサンプルを、近々住民の皆さんに投票で選んでいただく機会を設けます！



\*6月30日（金）に社会実験の説明会があります。『あかりよろず相談』も始めようと思いますので、是非ご参加ください！みんなで少しずつ、「もっと素敵な長門湯本温泉の夜」を創って参りましょう！



発行：長門市 経済観光部 成長戦略推進課

## 第2回住民ワークショップを開催しました！

平成29年6月11日（日）午後、湯本温泉旅館協同組合会議室において、第2回住民ワークショップを開催しました。

まず始めに「長門湯本温泉の美しい夜間景観を考えよう！」と題して、LEM空間工場の長町志穂氏から、LED電球による色温度の違いなどを体験しながら、夜間景観について学びました。夜間景観の改善方法のコツや長門湯本温泉に相応しい灯りイベントについての意見交換を行いました。内容は4ページにまとめましたのでご覧ください！

その後、長門湯本温泉らしい町並みについて、意見交換を行いました。まず始めに、いにしえ写真を見ながら、長門湯本温泉街のピフォーアフターを確認しました。その後、湯本区・門前区・三ノ瀬区で行った約500件の建物の外観調査結果をご紹介しながら、長門湯本温泉の町並みに関する質問について、〇×の旗を掲げて意見交換を行いました。地元に住まわれている方々ならではの意見をたくさん伺うことが出来ました。旗揚げゲームの質問や意見交換の内容は2～3ページにまとめていますので、参加できなかった方々も長門湯本温泉らしい建物や町並みについて、一緒に考えてみましょう！



長町氏による灯り改善のコツを学ぶ



〇×旗揚げWSの様子（住民WS）

## 第2回 設計者・施工者ワークショップを開催しました！

平成29年6月12日（月）夜、長門市物産観光センター会議室において、第2回 設計者・施工者ワークショップを開催しました。

今回は、住民ワークショップを体験する形で、湯本区・門前区・三ノ瀬区で行った約500件の建物調査の結果をご説明しながら、皆さんと長門湯本温泉らしい「屋根の形」や「壁の素材」など、建物の各部要素について〇×の旗を掲げて意見交換を行いました。

その後、山根雄高氏（山根建築設計事務所）から地元の目から見た建物の長門湯本温泉らしさについて発表を行って頂きました。「音信川に面した正面性」、「多彩な表情を持つ高欄」などの特徴と、それらを活かした町並み景観の提案を行って頂きました。

また、木村大吾氏（金剛住機(株)）から、リノベーションで長門湯本温泉らしさを生み出す工夫について、これまでの下関での活動を紹介しながらお話を頂きました。

住民ワークショップと設計者・施工者ワークショップが連動しながら、住まい手・作り手が一体となった長門湯本温泉らしい町並みのガイドラインづくりが進んでいます。



〇×旗揚げWSの様子（施工者・設計者WS）



木村氏によるリノベーションまちづくりを学ぶ

## 第3回住民ワークショップを7月23日（日）に開催します！

第3回住民ワークショップ

日時：平成29年7月23日（日） 13：30～（約2時間ほど予定してします。）

場所：湯本旅館協同組合 2F会議室

参加者：地域の方なら、どなたでもご参加できます！お気軽にご参加ください！（参加無料）

1. 周辺の集落景観について

① 長門湯本温泉周辺の集落景観は美しい？



○：23票  
×：0票

■長門湯本温泉周辺の景観について

長門湯本温泉周辺には、「母屋」と「離れ」（若夫婦の住まいや納屋）からなる赤瓦の美しい民家が多くあります。全ての方が「そのような民家が創る景観は美しい」と賛成されました。



母屋と離れからなる民家

2. 長門湯本温泉らしい「屋根」について

② 赤瓦の屋根並みは長門湯本温泉らしい？



○：14票  
×：9票

○の方の意見

- 山あいの緑の中に赤色が映えて良い。
- 石州瓦は雪が滑りやすい性質がある。焼成温度が高い為、硬くて高価。山陰地方に多い。
- ローカルな町なので赤瓦にしないと田舎から外れる気がする。温泉街としてローカルな町の特色を出していく方が良い。

×の方の意見

- 赤瓦か黒瓦かは、好みによる。
- 赤瓦は昔の農家のイメージ。長門湯本温泉らしいかと言われると違う気がする。
- 赤瓦もベタっとした色彩や素材の赤瓦だと魅力がない。

③ 入母屋の黒瓦の建物は長門湯本温泉らしい？



○：12票  
×：11票

長門湯本温泉の入母屋・黒瓦の建物例

○の方の意見

- 大田邸は、佐賀の炭鉱会社の山口氏が田んぼの管理をする為の別荘として建設。中は昭和初期の最高級の材料を使用している。
- 玄関の位置を変えてはいるが、建設当初の設えも残っており文化財級だと思う。
- 建設当時から黒瓦であり、これもまた長門湯本らしさである。
- 黒瓦は、泥瓦と釉薬瓦の二種類があるが、大田邸は釉薬瓦でツヤのある仕上り。焼く時に3割が割れてしまう高級な材料である。
- セメント瓦は耐久性に課題がある。

④ 瓦であれば何色でも長門湯本温泉らしい？



○：0票  
×：23票

⑤ 切妻黒瓦の建物は長門湯本温泉らしい？



長門湯本温泉にある切妻黒瓦の建物例

聞かれた意見

- 萩焼の窯元の建物なので、温泉街である長門湯本温泉らしい雰囲気ではないが、陶芸の歴史がある三ノ瀬らしい建物だと思う。
- 切妻屋根が6割、入母屋屋根が3割と少なくなっているが入母屋屋根は魅力的。
- 入母屋でなくとも勾配屋根であれば良いのではないかと。



三ノ瀬の黒瓦・切妻の建物例

⑥ 陸屋根の建物は長門湯本温泉に似合う？



○：0票  
×：23票

陸屋根の建物例

※2 切妻：屋根形式の1つ。⑤の写真の様な山形の屋根  
※3 陸屋根：屋根形式の1つ。勾配のない平らな屋根。

⑦ ちょっと難しい！長門湯本温泉に似合う？



○：1票  
×：22票

○の方の意見

- 赤瓦を使っていて、勾配屋根にもなっているから、これくらいなら許せるかなと思う。

×の方の意見

- 新興住宅地のような建物。
- 長門湯本温泉は中山間地の雰囲気似合う。この建物は住宅地の雰囲気が合っていない。
- デザインが洋風モダンすぎる。
- 屋根の勾配が急なため、長門湯本温泉の町並みに合っていない。

⑧ 湯本、門前、三ノ瀬で屋根の考え方に違いはある？



門前の黒瓦・入母屋の建物例

聞かれた意見

- 湯本は赤瓦で地域性を出して、温泉街の雰囲気を創り出した方が良い。
- 温泉街の雰囲気を門前や三ノ瀬が持っていないと良い。
- 三ノ瀬や門前は湯本とは違う。
- 三ノ瀬は窯元の建物の様な雰囲気が合う。
- 黒瓦の建物の雰囲気が門前に合う。

■「屋根」について

現状、湯本、門前、三ノ瀬の住宅や店舗の約9割が瓦屋根です。今後も瓦屋根が基本といえます。その際、長門湯本温泉らしい町並みに合った色彩を目指すことも重要です。中でも、湯本は温泉街の中心であり、長門湯本本来の赤瓦を目指すことも考えられます。

屋根の形態については、現状9割が勾配屋根です。今後も勾配屋根が基本といえます。入母屋屋根の建物は3割近くまで減少していますが、重要な景観要素であると言えます。屋根の色彩、素材、形態、勾配など、様々な観点から長門湯本温泉らしい町並みを守り育てていきましょう。

※4 吹付：壁などの仕上げの一種。仕上げ材を機材を用いて吹付け、付着させる施工方法。

3. 長門湯本温泉らしい「外壁」について

⑨ 板張りの建物は長門湯本温泉らしい？



○：23票  
×：0票

長門湯本温泉の板張りの建物例

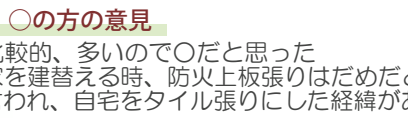
⑩ 木組みと土壁の外壁 長門湯本温泉(三ノ瀬)らしい？



○：23票  
×：0票

長門湯本温泉の木組みと土壁の建物例

⑪ タイルと吹付の外壁 長門湯本温泉らしい？



○：23票  
×：0票

○の方の意見

- 比較的、多いので○だと思った
- 家を建替える時、防火上板張りはだめだと言われ、自宅をタイル張りにした経緯がある

×の方の意見

- 風情がなく、寂しいかなと思った

湯本地区(準防火地域)で外壁に板を張る工夫について 設計者・施工者ワークショップで議論していきます!!

○：3票  
×：20票

⑫ サイディングの外壁 長門湯本温泉に似合う？



○：0票  
×：23票

⑬ サイディングの外壁+木組み 長門湯本温泉に似合う？



○：22票  
×：1票

準防火地域で外壁を板張りにした例

※5 サイディング：ボード状に仕上げられた既製品の外壁材の総称。金属系・プラスチック系などがある

■「外壁」について

現状、湯本、門前、三ノ瀬の住宅や店舗の約9割が板張りです。木材はどんな時代にも確保でき、部分的な補修もできる優れた材料です。また、多くの人が長門湯本温泉らしさを感じる材料です。今後も板張りの外壁の町並みを目指していくことが望まれます。

3地区のうち湯本地区だけは、都市計画で準防火地域の指定が掛かっています。近年は、施工の工夫で準防火地域でも外壁に木材を活用することが可能となってきています。設計者・施工者WSでその方法を整理していきます。三ノ瀬などでは、木組みと土壁の真壁の外壁なども見られます。このような自然素材を活用した外壁も町並みに調和した外壁です。自然素材の外壁で長門湯本温泉らしい町並みを守り育てていきましょう。

4. 長門湯本温泉らしい「開口部」について

⑭ 2階から川を眺めるのが湯本温泉の魅力？



○：23票  
×：0票

⑮ 水平に連続した窓や高欄は 今も長門湯本温泉らしい？



○：23票  
×：0票

■「開口部」について

音信川が流れる長門湯本温泉において、2階より上の窓から川を眺めることは今でも湯本地区の魅力となっています。その結果として、2階の水平に連続する窓が長門湯本温泉の町並みの特徴となっています。また、2階の開口部を彩る木製の高欄や手摺は、長門湯本温泉の風情を演出する重要な要素となっています。木製の高欄や手摺には防火の制限がありません。高欄や手摺、窓枠などで、温泉街らしい風情を演出しましょう。

5. 長門湯本温泉らしい「店構え」について

⑯ 木製のショーウィンドウや格子の店構え 植木等の表出 長門湯本温泉らしい？

×の方の意見

- 旅館は旅館、商店は商店というそれぞれの事情で店構えを考えてきたので、長門湯本温泉らしい統一感で進んできてはいない。
- 今までは景観条例もなく知識もなかったのではないが、景観上は綺麗だと思える建物も、長門湯本温泉の商店の店構えとしての設えを問われると判断しにくい。

○：16票  
×：7票

※6 高欄：日本建築で縁側や廊下につく手摺

⑰ 設備機器の溢れだし 良い？



○：0票  
×：23票

⑱ 自動販売機への配慮、良い？



○：23票  
×：0票

⑲ 玄関周りや軒先の演出、良い？



○：22票  
×：1票

⑳ お面を被った商店 人を迎え入れる店構え？



○：0票  
×：23票

㉑ 人を迎え入れる店構えになっている？



○：14票  
×：9票

- デッキやベンチ、植木や木製建具、おしゃれな看板、下屋庇など店先空間のちょっとした演出で、人々が自然と憩える空間を生み出している。

㉒ リノベーションを進めている物件は 沿道への配慮はどうなっている？



人を迎え入れるデッキを玄関としてつくり川へ自然に繋がる動線を計画している

■「店構え」について

お面のような看板の後ろに長門湯本温泉らしい建物が隠れている店舗が多くみられます。また、店先空間のちょっとした配慮で人が心地よく憩える場に変えることができます。人を迎える店構えに演出していきましょう。



お面を外すと長門湯本温泉らしい建物が出てきそう。

※写真は個人宅を評価するものではなく、あくまでイメージとしての掲載です。

※1 入母屋：屋根形式の1つ。③の写真の様な切妻造りの四方に庇屋根を付けた形。